



NO. 2364
2023. 9. 24

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

無料生活相談所

関 徹
長者町11-26
24-2414

菅 井 巖
中 橋 9 6
33-0534

長 谷 川 剛
日枝坂本43-10
41-9148

坂 本 昌 栄
稲生2-33-47
24-5993

加 藤 鉦 一
宝徳仲田56
64-3941



新つるおかHP

9月議会 一般質問 (菅井 巖議員)

後期高齢者医療 次期保険料軽減を図るべき

健康福祉部長「法改正・基金・医療費推移など総合的に勘案し判断」

7日の鶴岡市議会9月定例会一般質問で、日本共産党市議団の菅井巖議員が、①後期高齢者医療保険、②第9期介護保険事業計画、③交差点の信号機について、取り上げました。

後期高齢者医療に係る健康診査は



健康福祉部長 健康診査は、生活習慣病等の発見や重症化防止、医療費適正化を図るために実施している。

問 後期高齢者医療保険に係る健康診査などの取組状況はどうか。

令和4年度の健診受診率は、県内の平均25・1%に対し、本市は36・6%と県内で最も高い。

介護予防との一体的事業は令和2年4月から制度化され、市は4年度から個別支援や介護予防事業等を実施している。

健診の結果、医療受診が必要な人が未受診や治療中断の場合、保健師が訪問等で適切な受診支援を行っており、今年度は62人の対象者となっている。

コミセン等での百歳体操など、「通いの場」への参加者で、75歳以上の1308人に、心

身状況の確認の質問や、口腔機能と認知機能の改善・抑制について、専門職を派遣し、取組などもしている。

問 広域連合では令和6、7年度の保険料率引上げが検討される。

適切な医療受診や薬剤提供など、市町村ごとの課題解消の財政改善と、基金約34億円及

び繰り越し財源を活用し、次期保険料の負担軽減を図るよう提言すべきではないか。

健康福祉部長 保険料改定については、法改正や基金状況、県全体の被保険者数の増減、保険料の収納状況、医療費推移などを総合的に勘案しながら、構成市町村の一員として適切に判断してゆく。

介護人材不足、次期計画の検討は

問 介護保険制度は現在、第8期目の最終年度であり、来年度から

第9期事業計画（令和6～8）の策定スケジュールはどうか。

健康福祉部長 計画策定に向け、令和4年度実施の各種調査の集計分析を行っている。

国からの基本指針と調査結果等を踏まえ、庁内の策定委員会と、医療等の代表や、社会福祉法人、サビス事業者、市民、有識者等

からなる介護保険事業計画等策定懇話会を、10月以降2月までに3回程度開催し、計画をまとめていく。

その後、パブリックコメントを行い、議会説明を経て、第9期介護保険料等の条例改正を、令和6年3月定例会に諮る予定である。

各種基礎調査の結果と分析結果については、10月に開催を予定する第1回計画策定懇

物価高騰対策等の県補正予算



▽県議会9月定例会が19日に開会しました。

物価高騰対策

を中心とする補正予算（補正額110億8300万円）等の議案が上程され、特徴を数点挙げる。

①低所得世帯への冬季の灯油購入費等の臨時的支援「福祉灯油」の上乗せです。

②私立学校の物価高騰等への支援（生徒数×3千円）―私立にも公立に劣らぬ支援を図る事は重要です。

③施設園芸の燃油、畜産の飼料及び省エネ設備等の導入経費、水産物大型冷蔵庫・製氷工場の電気料金、活イ力出荷体制整備及び飲食店の利用促進等への支援。農・漁業者への運転資金無利子融資の延長―本県基幹産業の苦境への対応です。更に、猛暑被害への対応

も求められています。

④中小企業パワーアップ補助金の増額―DX・GX推進と、高付加価値化支援ですが、それよりも現状維持に苦慮する多くの中小業者への支援が必要です。

▽本腰を入れた熱中症対策を

⑤市町村立中学や県立高校、私立高校への可搬式冷房機器設置―「スポットクーラー」と言っても、空間全体を冷やすものではなく、熱中症対策としての効果には疑問です。設置の意図を精査し、科学的で総合的な熱中症対策を質していきます。

⑥医療機関、介護・福祉施設への新たな支援策は無し―引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の中、命と暮らしを守る緊急対策として、年度当初の施策への上乗せを求めています。

（県議 関 徹）

（1面のつづき）

一方で、介護人材の不足等により、特に住宅でのサービス事業所が減少傾向にあり、今後さらに深刻になると予想される。

介護人材の確保定着に向けた取組と、在宅生活を地域で支え合う仕組みづくりを検討し

てゆく。
介護保険料算定は、本市の高齢者人口が令和3年度にピークとなり、今後は減少していくが、一方で団塊の世代の介護ニーズが見込まれることから、各種調査の分析結果を踏まえ、慎重に検討してゆく。

大山二丁目信号機の撤去に疑問視

問 大山二丁目地内の交差点信号機の撤去について、地元自治会や交通安全会にも説明が

されず、疑問視する声も上がっているがどうか。

危機管理監 警察では、地域住民に対して最初に説明を行い、理解を得たのちに、大山自治会や大山交通安全会等関係機関にも、説明機会を設けたいとのことである。

信号機撤去の考えは、警察庁HPに掲載され、「1時間の自動車往復交通量が原則として300台以上であること」が信号機設置の必要条件である。

当箇所はそれ以下の交通量で、撤去検討がされていると聞いている。

地元の3つの町内会の役員に対して説明を

問 今年度の介護保険特別会計補正予算で、4億円の基金積立が示された。

剰余金が生じた要因と、現在の基金積立状況はどうか。
健康福祉部長 令和4年度末時点の基金残高は約11億5400万円である。

要介護認定者で亡くなるなど、資格を喪失した人が見込より多かった。
団塊の世代を中心に、70代になっても現役で活躍している人が多いことも、要介護認定者数の減少の要因と考える。

行い、木七町では役員だけでは判断できないため、住民説明会を行ったと聞いている。

社会教育課入札結果（ ）内は予定価格

9月14日入札分
・史跡松ヶ岡開墾場貯桑土蔵半解体工事实施設設計業務（羽黒町松ヶ岡）（入札1業者）
（株）伝統建築研究所 2,900,000円（3,058,000円）期間～6/3/25（落札率94.83％）

土木課入札結果（ ）内は予定価格

9月14日入札分
・トンネル・シェッド定期点検及び長寿命化修繕計画更新業務（鶴岡市地内）（入札10業者うち4業者辞退）
応用地質（株）山形営業所 13,800,000円（21,720,000円）期間～6/3/15（落札率63.54％）
・橋梁長寿命化修繕計画更新業務（鶴岡市地内）（入札15業者うち6業者辞退）
（株）建設技術研究所山形事務所 12,900,000円（20,330,000円）期間～6/3/15（落札率63.45％）
・市道大泉橋一日市町線電線共同溝特殊部工事（本町二丁目地内）（入札6業者うち2業者辞退）
（株）菅原工務店 44,100,000円（44,560,000円）工期～6/3/18（落札率98.97％）
・堅苔沢淵ノ上線ほか2路線道路改良工事（堅苔沢地内ほか）（入札2業者）
（株）土岐工務店 13,100,000円（13,130,000円）工期～12/22（落札率99.77％）

建築課入札結果（ ）内は予定価格

9月14日入札分
・市勤労者会館屋上防水シート改修工事
不調
・し尿処理施設屋根シート防水改修工事（宝田三丁目13番6号）（入札8業者）
（株）ナカムラ 27,000,000円（27,240,000円）工期～12/14（落札率99.12％）

下水道課入札結果（ ）内は予定価格

9月12日入札分
・市集落排水事業 田川地区清水No.45-1号マンホール舗新設工事（上清水地内）（入札7業者うち1業者辞退）
日栄産業株式会社 18,880,000円（19,270,000円）工期～6/3/15（落札率97.98％）
・市流域関連公共下水道・集落排水事業平形・東栄（川尻）地区地質調査業務（平形ほか地内）（入札14業者うち1業者失格）
（株）高田地研 3,830,000円（5,710,000円、最低制限価格3,623,680円）期間～6/2/15（落札率67.08％）

9月11日入札分
・市集落排水事業 三瀬地区管路施設147-2号路面復旧工事（由良地内）（入札4業者）
（株）マルゴ 13,300,000円（13,510,000円）工期～11/30（落札率98.45％）
・市公共下水道事業 汚水K301～K306号路面復旧工事（清水新田地内）（入札4業者）
（株）狩川佐藤組鶴岡営業所 20,500,000円（21,010,000円）工期～12/28（落札率97.57％）
・市公共下水道事業 汚水K201～K503号路面復旧工事（栃屋・下興屋地内）（入札4業者）
（株）佐藤渡辺鶴岡営業所 25,200,000円（25,630,000円）工期～11/30（落札率98.32％）

水道課入札結果（ ）内は予定価格

9月14日入札分
・鼠ヶ関配水池流量計移設工事基本・詳細設計業務委託（鼠ヶ関地内）（入札7業者）
（株）日本水道設計社山形営業所 7,100,000円（7,720,000円）期間～6/3/29（落札率91.97％）

説明会では同意は得られなかったため、改めて交通量調査を行う

察署内で更に検討してゆくとのことである。
今回の件は、市では特別な情報提供は受けず、警察では地

元理解が得られない場合は、無理に撤去を進めることはしないとも聞いている。

猛暑・少雨で農作物に被害

県と市が対策会議開く

記録的な暑さと少雨による農林水産業への被害について、山形県は12日、鶴岡市は14日

対策会議を開き、被害状況を確認しました。市内では、水稻の枯れ上がりや枯死など、



水稻の枯れ上がり（酒田市塚淵）



りんごの日焼け果

・等級が下がることによる農家の収入減も心配されます。

鶴岡5・4ha、藤島0・3ha、羽黒1・5ha、櫛引

枝豆や赤かぶ、キャベツなどの高温障害、果樹は、柿や和梨などの日焼け果、黒変などが見られました。

2・54ha、朝日4・5haで、計14・24ha、大豆は、枯死落葉が鶴岡7・3ha、藤島0・75ha、

（写真は県対策会議9／12資料から）